

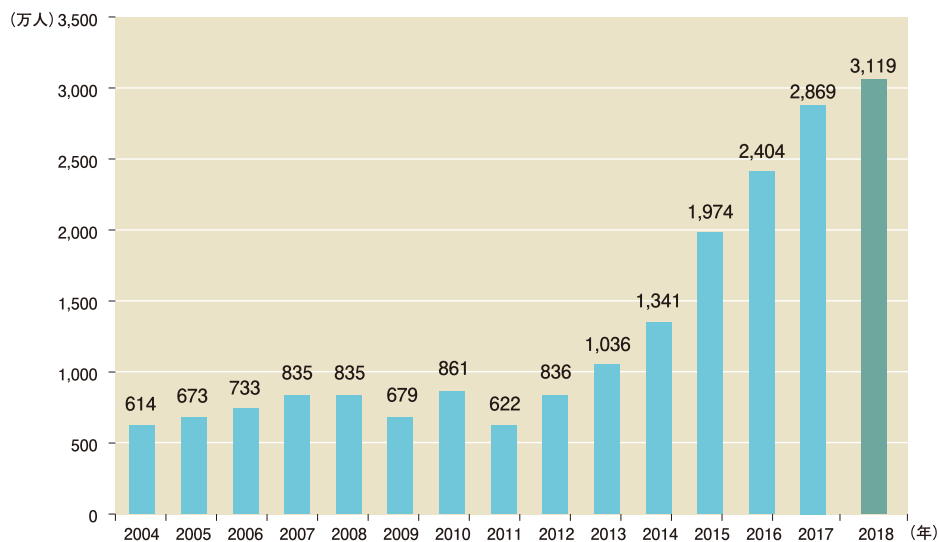
第1次茶のくに観光アクションプランの計画期間であった2014(平成26)年度から2018(平成30)年度の間に变化した国内外の観光動向は次のようなものでした。

①訪日外国人の急増

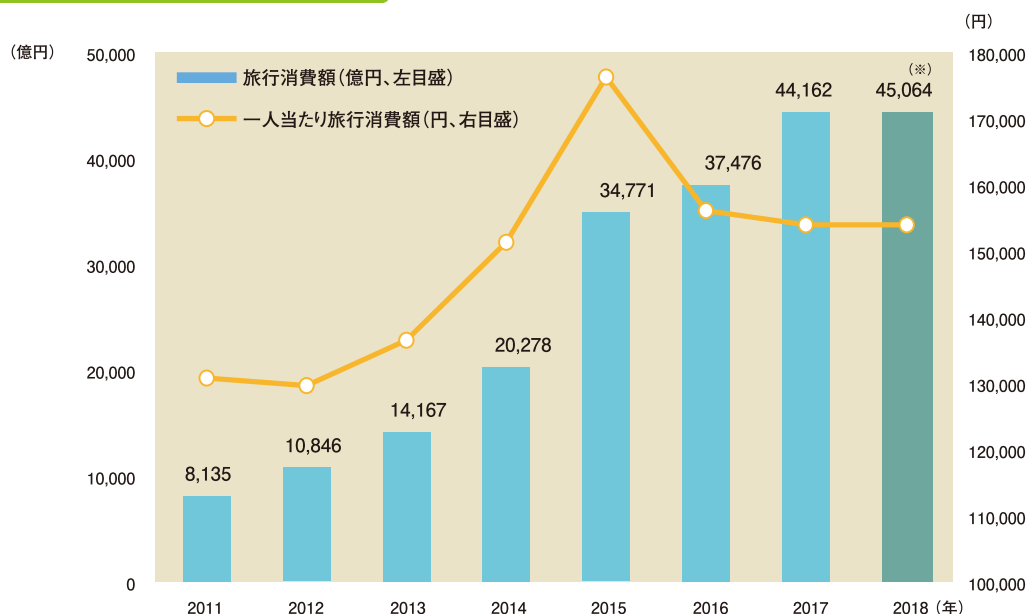
2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、訪日外国人は急増しており、2020年には4,000万人に達する見通しとなっています。

訪日外国人旅行者数の推移

【日本政府観光局(JNTO)資料に基づき観光庁作成】



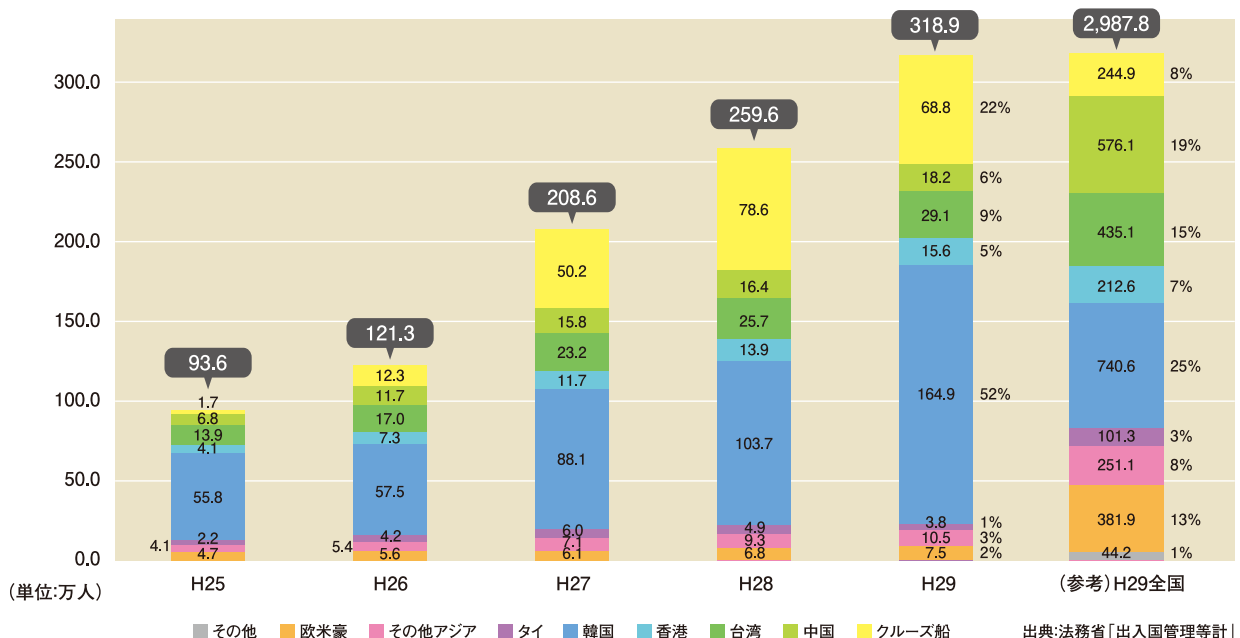
訪日外国人による消費額の推移



福岡県のインバウンド現状

福岡県への外国人観光客は韓国を主として伸びています。博多港へ入港するクルーズ船は H28 年まで順調に伸びてきましたが、H29 年は減少へ転じています。しかし、東アジアに近く、日本のゲートウェイとしての位置は変わらず、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ国際スポーツイベントに後押しされることもあり、今後の伸びが期待されます。

福岡県への入国外国人数の推移(国籍・地域別)



八女市のインバウンド現状

八女市を訪れる外国人は東京、大阪、京都などと比べると急増とはいえませんが、徐々に増加傾向にあり、宿泊客では香港からの観光客が最も多くなっています。

平成 29 年の延べ宿泊者数

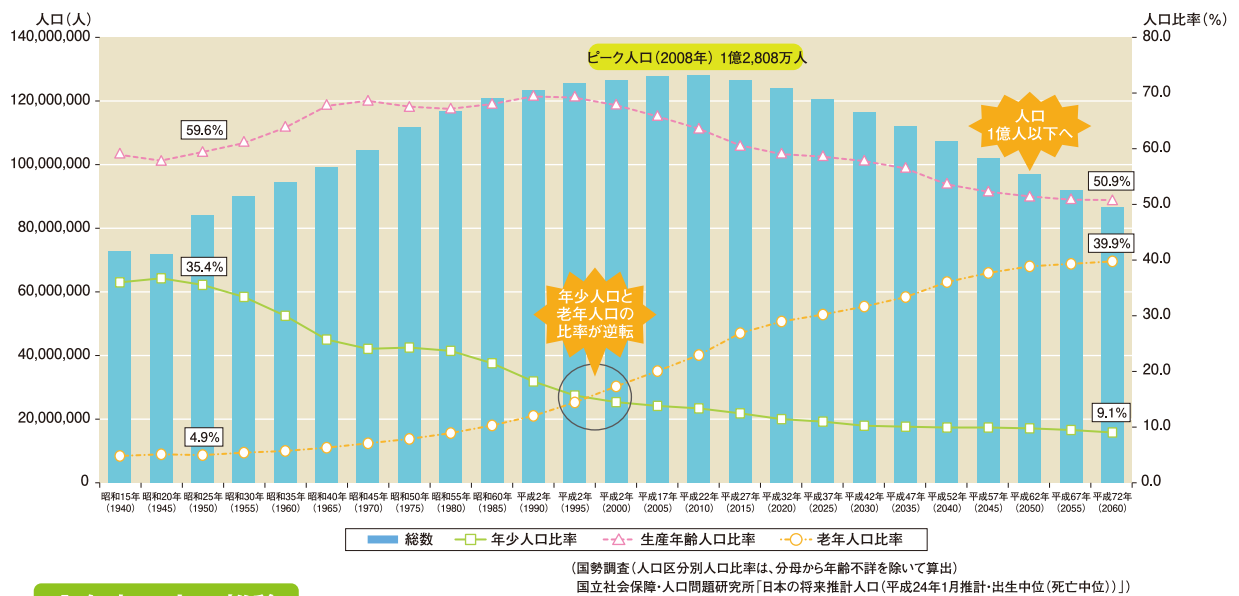
宿泊総数	国 内	外国人	国 別					
			韓国	中国	香港	台湾	アメリカ	その他
109,400	108,744	656	180	112	219	12	14	119

②国内人口減少

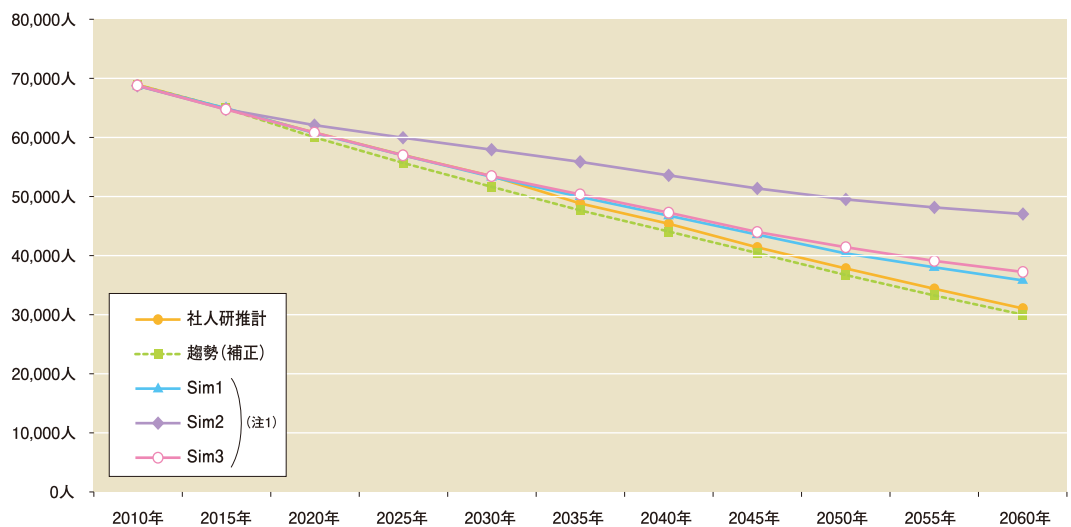
2013 年から減少に転じた国内人口は 2050 年には 1 億人程度まで減少すると予測されています。八女市でも長期的な人口減少は避けることができず、市の人口ビジョンは下図の通りとなっています。

これにともない中小規模コミュニティの維持・存続が地域課題となり、観光施策による交流の創出はさらに重要なテーマとなりました。

国の長期人口推移



八女市の人口推移



八女市『人口ビジョン』より